そして5人は、調べたことを絵地図にまとめてみました。

「あいち」をしらべたよ!

○名古屋市は、人口222万人の大都市です。(平成18年10月1日の人口)
○夏は、南からのしめった風によって、とてもむし暑いです。
○道路が広いことでも有名です。

○夏には知多半島の海水浴場がとてもにぎわいます。
○雨が少ないので、各地にため池をつくって、水不足にそなえてきました。
○そして、愛知用水ができたおかげで、くらしがゆたかになりました。3つの島にも用水は通じています。

地いきの人々がどんなくらしをしているか考えるときには、そこの地形や気候の特ちょうを調べると、ヒントになるよ!

○全国で2番目に広い濃尾平野があります。冬には「伊吹おろし」というかわいたつめたい風がふきます。
○木曽川の河口は、土地が海面よりも低いため、堤防をきずいたり、川の流れを変える工事(治水)をして、水害とたたかってきました。

○県内でいちばん高い「茶臼山」(高さ1,415m)にはスキー場があって地元の学校ではスキーの授業が行われています。
○日本でもっとも人口が少ない村の富山村がありましたが、平成17年に、となりの豊根村と合併しました。

○渥美半島に豊川用水が引かれ、あたたかい気候のもと農業が日本一さかんな地いきになることができました。
○太平洋がわの浜辺ではアカウミガメが安心してたまごをうめるように、海をきれいにする活動をしています。

愛知県のデータ

- 面積 5,162km²
  (全国で27番目の広さ)
- 東西106km、南北94km、海岸線の長さ592km
- 人口730万人(全国4位)
  (平成18年10月1日の人口)

○みんなの住んでいるところはどんなところか、調べてみよう。
○山地、平野、低い土地、海辺など土地の特ちょうを生かしながら、人々がどんな生活をしているか、ぼくらがくわしく取材していくよ!